

# FINANCIAL HIGHLIGHTS

## 財務ハイライト

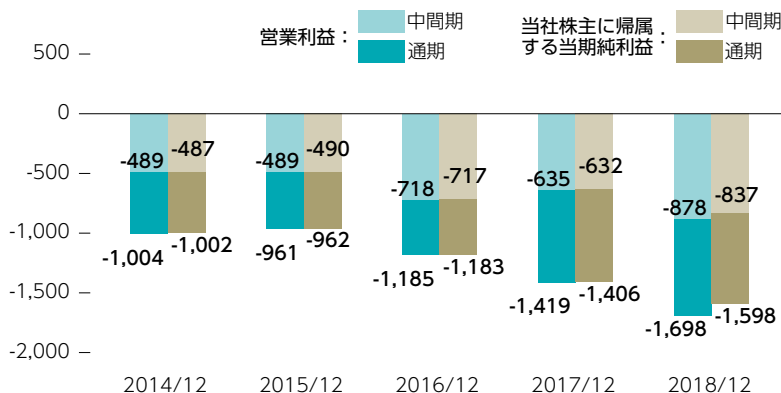
### 営業損失・純損失は前期比で増加、予実対比では減少で着地

当期の決算は、前期に比べ営業損失は約2.8億円増(+19.6%)、純損失は約3.8億円増(+31.5%)となりました。主な要因は、臨床治験にかかる費用が前期に比べて増加したこと、業績目標に対する達成度に基づく発行済みストック・オプションの会計上の評価額が前期に比べて上昇し費用計上額が増加したことです。

一方、業績予想に対しては、営業損失は約3.0億円減(-15.2%)、純損失は約4.0億円減(-20.2%)となりました。主な要因は、①上記の会計上の評価額の増加を見込んで業績予想を作成したが実際は予想に比べ低かったこと、②想定した治験関連費用発生時期が一部後ろ倒しになっていること、③NASHのフェーズ2が良好な中間解析結果を受けて早期終了し費用発生が抑制されたことです。

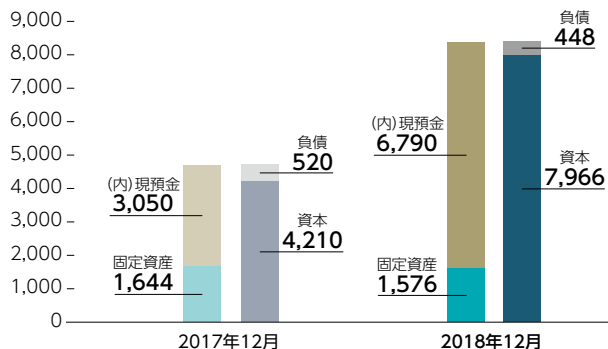
### 営業利益／当社株主に帰属する当期純利益

(百万円)



### 資産の内訳

(百万円)



	2017年12月	2018年12月	増減
現金及び現金同等物(百万円)	3,050	6,790	+3,740
資本合計(百万円)	4,210	7,966	+3,755
1株当たり純資産(円)	116	190	+74
1株当たり現金及び現金同等物(円)	84	161	+77
	2017/12/30 時点	2018/12/28 時点	
JASDAQ市場時価総額(百万円)	26,866	37,747	+10,881

注) メディシノバは米国企業で実際の決算は米ドルベースで行われておりますが、便宜上、三菱東京UFJ銀行の2019年1月31日現在の対顧客電信直物相場から算出した仲値1ドル=108.96円にて円換算し、単位未満切り捨てで掲載しております。

# CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

## 財務諸表

### 貸借対照表

(百万円/単位未満切捨て)

科目	前期末 (2017年12月)	当期末 (2018年12月)	増減額
<b>資産の部</b>			
流動資産	3,086	<b>6,838</b>	3,752
固定資産	1,644	<b>1,576</b>	△68
資産合計	4,730	<b>8,414</b>	3,684
<b>負債の部</b>			
流動負債	313	<b>238</b>	75
固定負債	207	<b>210</b>	△3
負債合計	520	<b>448</b>	72
<b>純資産の部</b>			
株主資本	3,971	<b>4,585</b>	614
資本金	3	<b>4</b>	1
払込剰余金	41,421	<b>46,775</b>	5,354
累積欠損	△37,205	<b>△38,804</b>	△1,599
その他の包括損失累計額	△10	<b>△10</b>	0
純資産合計	4,210	<b>7,965</b>	3,755
負債及び純資産合計	4,730	<b>8,414</b>	3,684

### キャッシュ・フロー計算書

(百万円/単位未満切捨て)

科目	前期 (2017年)	当期 (2018年)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△754	<b>△993</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	—	<b>68</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,176	<b>4,664</b>
現金及び現金同等物の増減	422	<b>3,739</b>
現金及び現金同等物の期首残高	2,627	<b>3,049</b>
現金及び現金同等物の期末残高	3,049	<b>6,789</b>

### 損益計算書

(百万円/単位未満切捨て)

科目	前期 (2017年)	当期 (2018年)	増減額
売上高(営業収益)	—	—	—
営業費用	1,419	<b>1,698</b>	279
営業利益	△1,419	<b>△1,698</b>	△279
営業外収益	2	<b>2</b>	0
税金等調整前当期純利益	△1,406	<b>△1,598</b>	△192
当社株主に帰属する当期純利益	△1,216	<b>△1,598</b>	△382
当期純利益	△1,216	<b>△1,598</b>	△382

## CHECK POINT

**流動資産** 現金及び現金同等物は、前期末に比べ約37.4億円増加の約67.9億円と、2019年末までの事業運営資金を十分カバーしています。

**資産合計** 公募増資の実行、ワラント行使、新株発行の販売代理契約(ATM\*)の実施、ストック・オプションの行使等の財務・投資活動による約46.6億円と、投資活動による約0.6億円のキャッシュ・イン、営業活動による約9.9億円のキャッシュ・アウトを相殺し、現金及び現金同等物が約37.4億円増加しました。

※ATM:アット・ザ・マーケット

**株主資本** 累積欠損が約16.0億円増加する一方、2018年2月に実施した公募増資で455万株、そのほかワラント行使、新株発行の販売代理契約(ATM)の実施、ストック・オプションの行使等により合計563万株の普通株を発行し、払込剰余金が約53.5億円増加しました。

**営業費用** 研究開発費(約6.1億円)がMN-166の臨床治験にかかる費用の増加などで前期比で約1.5億円増、一般管理費(約10.9億円)が各種弁護士費用の増加などで前期比で約1.3億円増となりました。また両費用とも、業績目標に対する達成度に基づく(研究開発および一般管理業務に関わる)役職員への株式報酬の評価額が上昇し、費用計上額が増加しました。

注) 米国会計基準に準拠した財務諸表の科目を一部変更しています。

三菱東京UFJ銀行の2019年1月31日現在の対顧客電信直物相場から算出した仲値1ドル=108.96円にて円換算しています。

# STOCK INFORMATION

## 株式の状況

### 授権株式総数

**103,000,000**株 (2019年3月31日現在)

### 発行済普通株式の総数

**43,058,760**株 (2019年3月31日現在)

### 純資産

**79億65**百万円 (2018年12月31日現在)

### 株主数

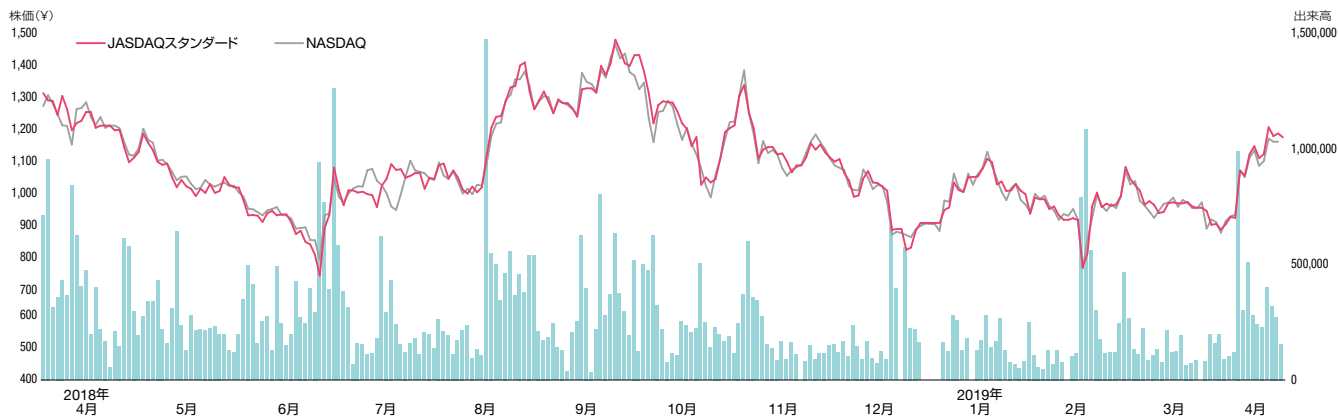
**15,143**名 (2018年12月31日現在)

JASDAQ証券コード 4875  
NASDAQティッカー MNVO

### [大株主]

(2018年12月31日現在)

株主名	所有株式数 (株)	発行済株式数に 対する所有株式 数の割合(%)
里見 治	2,217,000	5.27
キッセイ薬品工業株式会社	1,400,000	3.33
ステート・ストリート・バンク・アンド・トラスト・カンパニー(ブラックロック・インスティテュートナル・トラスト)	1,211,399	2.88
エセックス・ウッドランド・ヘルス・ベンチャーズ・ファンド VI・エルピー	1,170,370	2.78
岩城 裕一	865,820	2.06
ステート・ストリート・バンク・アンド・トラスト・カンパニー	678,896	1.61
日本トラスティサービス信託銀行(信託財産口/投信)	640,800	1.52
JPモルガン・チェース・バンク(IA)	493,667	1.17
バンクオブニューヨークメロン	486,575	1.16
UBSファイナンシャルサービスインク	433,718	1.03



### 株主メモ

- 証券コード：JASDAQスタンダード 4875
- 決算期：12月31日
- 売買単位：100株(東証JASDAQ市場)
- 株式事務取扱機関：  
東京都千代田区丸の内1丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

- 事務取扱場所：  
東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 株主名簿管理人：  
American Stock Transfer & Trust Company  
(アメリカン・ストック・トランスファー・アンド・トラスト・カンパニー)  
6201 15th Ave. Brooklyn, NY 11219, USA